

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	子宮頸癌 Tisotumab Vedotin療法						臨床区分	抗癌剤適応分類		登録日	2025年7月2日					
疾患名	子宮頸癌								<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法	1クール期間	21日				
診療科名	婦人科								<input type="checkbox"/> 単施設自主研究	<input type="checkbox"/> 術後化学療法	実施回数	/回				
登録医師名	今福 紀章		<input type="checkbox"/> 他施設自主研究	<input type="checkbox"/> 術前化学療法												
適用	がん化学療法後に増悪した進行再発の子宮頸癌		<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究	<input type="checkbox"/> 局所療法												
<input type="checkbox"/> 治験	<input type="checkbox"/> その他															
Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日								注意コメント	
1	5%糖液	250	mL	点滴静注	メイン		day1	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 1) 投与前に目の異常がないことを確認すること 2) ステロイド点眼、血管収縮点眼、ドライアイ点眼の3種類が処方されていることを確認すること
							●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	グラニセトロン点滴静注液1mg/パック	1	瓶	点滴静注	メイン	15min	●								1) 投与後ブドウ糖液でフラッシュすること 2) 制吐剤終了後、血管収縮点眼を行うこと 3) テブダック投与5分前から冷却パックで両目の冷却を開始し、投与終了後30分後まで継続すること	
	テキサート注射液 6.6mg	1	管													
3	5%糖液	50~100	mL	点滴静注	側管	30min	●								1) テブダック投与前にブドウ糖液でフラッシュ 2) インラインフィルターを使用すること 3) 調製後25°C以下で4時間または2~8°Cで24時間以内に投与を完了すること 4) テブダック1Vあたり4mLの注射用水で溶解すること 5) 75mg/body以下の場合には、0.7mg/mLとなるように希釈液量を変更すること 6) 投与後も30分間冷却パックで両目の冷却を継続すること	
	テブダック点滴静注40mg	2	mg/kg													
	注射用水	適量	mL													

備考欄

本レジメンの適用前に眼科の診察があったことを確認すること。
また点眼剤として副腎皮質ステロイド点眼(例:フルメトロン)、血管収縮点眼(例:ブリモニジン)、ドライアイ治療用点眼(例:ジクアス)の3種類が処方されているか確認すること。

最終投与30日後までコンタクトレンズの装着は避けること

濃度規定有り！減量時には希釈後の濃度に注意すること((※0.7~2.4mg/mL)

減量・中止基準

通常投与量	2 mg/kg (最大200mg/body)
1段階減量	1.3 mg/kg (最大130mg/body)
2段階減量	0.9 mg/kg (最大90mg/body)
3段階減量	投与中止

基準に関しては添付文書参照

文献

Tisotumab Vedotin as Second- or Third-Line Therapy for Recurrent Cervical Cancer